



2019年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月14日

上場会社名 三櫻工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6584 URL <http://www.sanoh.com/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 竹田 玄哉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 財務本部長 (氏名) 長谷川 貴之 TEL 03-5793-8411
 定時株主総会開催予定日 : 2019年6月19日 配当支払開始予定日 : 2019年5月29日
 有価証券報告書提出予定日 : 2019年6月19日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

百万円未満四捨五入

1. 2019年3月期の連結業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	140,456	1.2	2,067	△51.9	1,435	△65.3	△8,525	—
2018年3月期	138,724	3.7	4,297	△28.4	4,140	△23.2	4,935	359.7

(注) 包括利益 2019年3月期△10,103百万円 (—%) 2018年3月期 11,669百万円 (707.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	△234.24	—	△23.1	1.4	1.5
2018年3月期	135.60	—	13.0	3.9	3.1

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 ー百万円 2018年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	102,152	34,646	30.3	851.34
2018年3月期	105,667	46,107	40.6	1,177.92

(参考) 自己資本 2019年3月期 30,985百万円 2018年3月期 42,871百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	6,612	△9,506	3,814	15,505
2018年3月期	8,617	△10,508	4,734	15,060

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00	892	18.4	2.4
2019年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00	910	—	2.5
2020年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00		36.4	

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	71,000	1.4	1,200	△52.0	1,000	△53.7	300	△62.5	8.24
通期	145,000	3.2	2,600	25.8	2,000	39.4	600	—	16.49

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2019年3月期	37,112,000株	2018年3月期	37,112,000株
2019年3月期	716,753株	2018年3月期	716,580株
2019年3月期	36,395,305株	2018年3月期	36,395,529株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況

(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、雇用環境の改善による個人消費の持ち直しもあり、内需主導の緩やかな景気回復が続きました。

海外において、米国では、良好な雇用・所得環境を背景に高成長を維持しました。欧州においては、EU離脱問題など不確実性が高まるなか、ユーロ圏を中心に輸出環境の厳しさが増したことから成長に減速傾向がみられました。中国では、インフラ投資の減速や米中貿易戦争の激化の影響により成長の鈍化が鮮明となり、アジアでは、設備投資や個人消費が底堅さを継続しました。

このような環境のなか、当連結会計年度の経営成績は、新規立上げや客先生産台数の増大により、アジア及び中国を中心に増収となったものの、人件費等固定費の上昇により、欧州及び中国で減益となりました。またメキシコでの減収により、北南米で減益となりました。この結果、売上高は1,404億56百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は20億67百万円（前年同期比51.9%減）と増収、減益となりました。また営業利益の減少に加え、前期と比べ為替レートが円高に推移したことにより為替差損が発生したため、経常利益は14億35百万円（前年同期比65.3%減）、減損損失の計上等により親会社株主に帰属する当期純損失は85億25百万円（前年同期は49億35百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）と減益となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

① 日本

売上高355億15百万円（前年同期比0.6%増）と増収となりました。営業利益は厚生年金基金の解散及び確定拠出企業年金制度への移行に伴う退職給付費用の減少により、12億99百万円（前年同期比439.6%増）と増益となりました。

② 北南米

主にメキシコ国内の販売台数の減少に伴うメキシコ子会社の減収により、売上高は435億76百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益は14億93百万円（前年同期比42.8%減）と減収、減益となりました。

③ 欧州

排気ガス燃費試験法導入に伴う欧州自動車メーカーの乗用車販売台数の減少等により、売上高は235億20百万円（前年同期比0.6%減）と減少しました。減収に伴う減益に加え、新規立上げ関連費用の増加により、営業損失は32億30百万円（前年同期は10億20百万円の営業損失）となりました。

④ 中国

客先生産台数の増加や新規立上げによる売上増加により、売上高は153億57百万円（前年同期比9.4%増）と増収となりましたが、営業利益は人件費等の固定費の増加により72百万円（前年同期比80.2%減）と減益となりました。

⑤ アジア

主にタイ子会社の日系メーカー向け売上が増加したことにより、売上高は224億88百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益は23億5百万円（前年同期比12.4%増）と増収、増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は1,021億52百万円となり、前連結会計年度末に比べて35億15百万円減少しました。主な要因は現金及び預金の増加4億45百万円、仕掛品の増加7億21百万円、機械装置及び運搬具等の有形固定資産の減少36億93百万円及び投資有価証券の減少13億97百万円等であります。

負債合計は675億7百万円となり、前連結会計年度末に比べて79億46百万円増加しました。主な要因は支払手形及び買掛金の減少3億55百万円、電子記録債務の増加8億77百万円、短期借入金の増加75億78百万円、未払金の増加16億20百万円、長期借入金の減少24億37百万円、リース債務の増加8億81百万円等であります。

純資産は346億46百万円となり、前連結会計年度末に比べて114億61百万円減少しました。主な要因は為替換算調整勘定の減少13億29百万円、その他有価証券評価差額金の減少12億7百万円、非支配株主持分の増加4億25百万円及び利益剰余金の減少94億35百万円等であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、営業活動により66億12百万円増加、投資活動により95億6百万円減少、財務活動により38億14百万円増加等の結果、当連結会計年度末には155億5百万円（前連結会計年度末比4億45百万円の増加）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動により得られた資金は、税金等調整前当期純損失が66億52百万円（前年同期は109億52百万円の税金等調整前当期純利益）、減価償却費が59億99百万円（前年同期は58億46百万円）、減損損失が53億11百万円（前年同期は33億23百万円）、たな卸資産の増加による資金減が14億91百万円（前年同期は5億58百万円の資金減）、仕入債務の増加による資金増が11億99百万円（前年同期は3億66百万円の資金増）、未払金の増加による資金増が18億21百万円（前年同期は3億41百万円の資金増）、法人税等の支払による資金減が15億40百万円（前年同期は24億6百万円の資金減）あったこと等により、前年同期と比較して、20億5百万円減少して、66億12百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動に使用された資金は、自動車部品事業を中心とした有形固定資産の取得による支出93億48百万円（前年同期は108億14百万円の支出）等により、前年同期と比較して10億3百万円減少して95億6百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動により得られた資金は、借入金の純増加による収入54億72百万円（前年同期は58億78百万円の収入）、配当金の支払による支出9億10百万円（前年同期は8億92百万円の支出）、非支配株主への配当金の支払による支出4億48百万円（前年同期は1億69百万円の支出）等により、前年同期と比較して、9億20百万円減少して、38億14百万円となりました。

(4) 今後の見通し

2020年3月期の通期連結業績見通しにつきましては、以下のとおりとさせていただきます。

通期連結業績見通し

売上高	145,000百万円	(対前期比 3.2%)
営業利益	2,600百万円	(対前期比25.8%)
経常利益	2,000百万円	(対前期比39.4%)
親会社株主に帰属する当期純利益	600百万円	

(業績予想に関する留意事項)

業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,060	15,505
受取手形及び売掛金	18,839	19,123
電子記録債権	576	472
製品	3,414	3,467
仕掛品	8,184	8,905
原材料及び貯蔵品	9,933	9,715
その他	2,349	2,247
貸倒引当金	△75	△81
流動資産合計	58,280	59,352
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,125	17,865
機械装置及び運搬具	65,274	68,997
工具、器具及び備品	11,631	12,342
土地	3,498	3,448
リース資産	745	677
建設仮勘定	5,190	3,995
減価償却累計額	△64,276	△65,999
減損損失累計額	△5,047	△9,878
有形固定資産合計	35,140	31,447
無形固定資産		
のれん	5	2
リース資産	18	10
その他	273	278
無形固定資産合計	295	291
投資その他の資産		
投資有価証券	10,062	8,665
長期貸付金	5	3
繰延税金資産	1,338	1,793
その他	547	600
投資その他の資産合計	11,952	11,062
固定資産合計	47,388	42,800
資産合計	105,667	102,152

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,620	10,265
電子記録債務	4,325	5,202
短期借入金	17,912	25,491
未払金	2,599	4,219
リース債務	190	305
未払法人税等	423	311
未払消費税等	403	330
賞与引当金	1,119	1,087
役員賞与引当金	23	19
製品保証引当金	572	1,095
その他	4,027	4,611
流動負債合計	42,214	52,935
固定負債		
長期借入金	11,183	8,746
長期未払金	1,150	713
リース債務	570	1,336
繰延税金負債	533	45
役員退職慰労引当金	174	164
退職給付に係る負債	3,642	3,484
その他	94	83
固定負債合計	17,347	14,571
負債合計	59,561	67,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,481	3,481
資本剰余金	2,365	2,365
利益剰余金	35,075	25,640
自己株式	△477	△477
株主資本合計	40,444	31,009
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,517	3,310
為替換算調整勘定	△2,044	△3,372
退職給付に係る調整累計額	△47	38
その他の包括利益累計額合計	2,427	△24
非支配株主持分	3,236	3,661
純資産合計	46,107	34,646
負債純資産合計	105,667	102,152

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	138,724	140,456
売上原価	119,568	124,298
売上総利益	19,157	16,159
販売費及び一般管理費	14,859	14,092
営業利益	4,297	2,067
営業外収益		
受取利息	75	47
受取配当金	214	244
その他	288	250
営業外収益合計	577	541
営業外費用		
支払利息	346	415
為替差損	269	502
その他	119	255
営業外費用合計	734	1,172
経常利益	4,140	1,435
特別利益		
固定資産売却益	23	21
厚生年金基金解散益	10,488	—
特別利益合計	10,511	21
特別損失		
固定資産売却損	38	8
固定資産除却損	185	136
減損損失	3,323	5,311
製品保証引当金繰入額	—	1,431
和解金	—	1,221
その他	152	—
特別損失合計	3,699	8,107
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	10,952	△6,652
法人税、住民税及び事業税	1,738	1,439
法人税等調整額	3,515	△481
法人税等合計	5,253	958
当期純利益又は当期純損失(△)	5,699	△7,610
非支配株主に帰属する当期純利益	764	915
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	4,935	△8,525

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	5,699	△7,610
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	522	△1,207
為替換算調整勘定	1,171	△1,371
退職給付に係る調整額	4,276	85
その他の包括利益合計	5,970	△2,493
包括利益	11,669	△10,103
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	10,734	△10,976
非支配株主に係る包括利益	935	873

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,481	2,628	31,032	△477	36,663
当期変動額					
剰余金の配当			△892		△892
親会社株主に帰属する 当期純利益			4,935		4,935
自己株式の取得				△0	△0
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動		△263			△263
株主資本以外の項目の当期 変動額(純額)					
当期変動額合計	－	△263	4,044	△0	3,781
当期末残高	3,481	2,365	35,075	△477	40,444

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	3,995	△3,044	△4,323	△3,372	2,290	35,581
当期変動額						
剰余金の配当						△892
親会社株主に帰属する 当期純利益						4,935
自己株式の取得						△0
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動						△263
株主資本以外の項目の当期 変動額(純額)	522	1,000	4,276	5,799	946	6,745
当期変動額合計	522	1,000	4,276	5,799	946	10,526
当期末残高	4,517	△2,044	△47	2,427	3,236	46,107

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,481	2,365	35,075	△477	40,444
当期変動額					
剰余金の配当			△910		△910
親会社株主に帰属する 当期純利益			△8,525		△8,525
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期 変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	△9,435	△0	△9,435
当期末残高	3,481	2,365	25,640	△477	31,009

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	4,517	△2,044	△47	2,427	3,236	46,107
当期変動額						
剰余金の配当						△910
親会社株主に帰属する 当期純利益						△8,525
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期 変動額（純額）	△1,207	△1,329	85	△2,451	425	△2,026
当期変動額合計	△1,207	△1,329	85	△2,451	425	△11,461
当期末残高	3,310	△3,372	38	△24	3,661	34,646

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	10,952	△6,652
のれん償却額	60	3
減価償却費	5,846	5,999
減損損失	3,323	5,311
有形固定資産売却損益(△は益)	15	△12
有形固定資産除却損	185	136
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2,615	△42
受取利息及び受取配当金	△289	△290
支払利息	346	415
厚生年金基金解散益	△10,488	—
売上債権の増減額(△は増加)	522	△958
たな卸資産の増減額(△は増加)	△558	△1,491
仕入債務の増減額(△は減少)	366	1,199
賞与引当金の増減額(△は減少)	33	△10
未払金の増減額(△は減少)	341	1,821
未払費用の増減額(△は減少)	△290	△62
長期未払金の増減額(△は減少)	1,150	△437
その他	2,185	3,423
小計	11,086	8,354
利息及び配当金の受取額	287	290
利息の支払額	△350	△492
法人税等の支払額	△2,406	△1,540
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,617	6,612
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,814	△9,348
有形固定資産の売却による収入	277	229
投資有価証券の取得による支出	△26	△359
投資有価証券の売却による収入	—	42
その他	54	△69
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,508	△9,506
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,817	8,537
長期借入れによる収入	3,881	24
長期借入金の返済による支出	△2,821	△3,088
配当金の支払額	△892	△910
非支配株主への配当金の支払額	△169	△448
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△82	—
その他	△0	△300
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,734	3,814
現金及び現金同等物に係る換算差額	294	△476
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,136	445
現金及び現金同等物の期首残高	11,924	15,060
現金及び現金同等物の期末残高	15,060	15,505

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは主に自動車部品、電器部品及び設備等を製造・販売しており、国内においては当社及びフルトンプロダクツ工業(株)他の連結子会社が、海外においては北南米、欧州、中国、アジアの各地域をサンオー アメリカ インコーポレーテッド(米国)、ガイガー オートモーティブ GmbH(ドイツ)、広州三櫻制管有限公司(中国)、エイブル サンオー インダストリーズ(1996) CO., LTD. (タイ)及びその他の連結子会社各社がそれぞれ担当しております。連結子会社はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「北南米」、「欧州」、「中国」及び「アジア」の5つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、自動車部品のほか、電器部品及び設備等を製造・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている地域別セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自2017年4月1日 至2018年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1)外部顧客への売上高	35,306	45,128	23,658	14,036	20,597	138,724	—	138,724
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,295	581	198	1,954	648	21,676	△21,676	—
計	53,601	45,709	23,855	15,990	21,246	160,401	△21,676	138,724
セグメント利益または損失 (△)	241	2,611	△1,020	366	2,050	4,247	50	4,297
セグメント資産	54,876	22,563	18,162	13,661	14,372	123,635	△17,189	106,446
その他の項目								
減価償却費	2,157	1,668	768	660	759	6,012	△166	5,846
減損損失	1,601	—	1,465	258	—	3,324	△1	3,323
有形固定資産および無形固 定資産の増加額	3,336	2,298	2,576	847	1,901	10,958	△197	10,761

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 売上高の調整額△21,676百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。
 - (2) セグメント利益又は損失(△)の調整額50百万円には、のれんの償却額△60百万円、顧客関連資産の償却額△103百万円、技術関連資産の償却額△11百万円、貸倒引当金繰入の取消額35百万円、固定資産の調整額83百万円およびたな卸資産の調整額等106百万円が含まれております。
 - (3) セグメント資産の調整額△17,189百万円は、長期投資資金(投資有価証券)1,336百万円、管理部門に係る資産270百万円、のれん等5百万円、セグメント間取引消去△17,352百万円、連結会社への貸倒引当金の取り消し1,003百万円、投資と資本の消去△1,458百万円、および未実現利益消去△993百万円であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△197百万円は、未実現利益消去△197百万円であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
- 3 セグメント負債については、意思決定に使用していないため、記載しておりません。

当連結会計年度（自2018年4月1日 至2019年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1)外部顧客への売上高	35,515	43,576	23,520	15,357	22,488	140,456	—	140,456
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	19,303	553	122	2,080	906	22,965	△22,965	—
計	54,818	44,129	23,642	17,437	23,395	163,421	△22,965	140,456
セグメント利益または損失 (△)	1,299	1,493	△3,230	72	2,305	1,940	127	2,067
セグメント資産	48,255	21,540	13,321	14,359	15,199	112,674	△10,521	102,152
その他の項目								
減価償却費	2,208	1,703	968	615	776	6,270	△272	5,999
減損損失	1,586	—	3,553	201	—	5,340	△29	5,311
有形固定資産および無形固 定資産の増加額	2,703	1,327	3,023	1,408	1,203	9,665	△233	9,432

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 売上高の調整額△22,965百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。
 - (2) セグメント利益又は損失(△)の調整額127百万円には、のれんの償却額△3百万円、貸倒引当金繰入の取消額78百万円、固定資産の調整額38百万円およびたな卸資産の調整額等14百万円が含まれております。
 - (3) セグメント資産の調整額△10,521百万円は、長期投資資金(投資有価証券)1,057百万円、管理部門に係る資産251百万円、のれん等2百万円、セグメント間取引消去△17,061百万円、連結会社への貸倒引当金の取り消し6,851百万円、投資と資本の消去△675百万円、および未実現利益消去△947百万円であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△233百万円は、未実現利益消去△233百万円であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
- 3 セグメント負債については、意思決定に使用していないため、記載しておりません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額 (円)	1,177.92円	851.34円
1株当たり当期純利益又は1株当たり 当期純損失 (△)	135.60円	△234.24円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注) 2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社 株主に帰属する当期純損失 (△) (百万円)	4,935	△8,525
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△) (百万円)	4,935	△8,525
期中平均株式数 (千株)	36,396	36,395

(重要な後発事象)

該当事項はありません。